

平成 29 年度河合町街再生協議会 要旨

日時：平成 30 年 2 月 21 日（水）

10 時 00 分～11 時 30 分

場所：河合町中央公民館

2 階会議室

《参加者》

街再生協議会委員（4 名欠席）、企画部長、総務部長、住民生活部長、まちづくり推進部長、教育部長、福祉部次長、事務局 2 名

《議題》

河合町街再生総合戦略改訂版（案）について

・河合町街再生総合戦略の改定について事務局から説明
⇒承認

河合町街再生総合戦略の効果検証（進捗状況報告）

・平成 29 年度街再生総合戦略進捗状況管理シートを基に事務局から説明
⇒承認

《委員からの質問、意見、評価》

（委員発言順）

総合戦略改定版（案）について	
質問・意見・評価	回答（質問の場合）
全国放送のお見合い番組の収録も終わり、これを機に河合町の知名度を向上させるといいますが、そもそも、そのような番組は過疎地域で行うことで活性化を図ると思うが、河合町で行うことの意味はあるのか。	大きく 2 つの目的があります。1 つ目は数ある市町村の中から、移住先、定住先として河合町を選択してもらうための知名度アップ（宣伝効果）、2 つ目は実際に結婚して河合町で、家庭を育てていただく（人口増効果）ということです。
北葛城郡 4 町で移住プロジェクトを実施していると思うが、今後、そういった単位でもこのような企画を実施すれば良いのではないのか。	「すむ・奈良・ほっかつ！」と題しまして移住プロジェクトを実施しております。その中で婚活イベントの開催を視野に入れておきます。

総合戦略進捗状況について ※質問の「 」は総合戦略の関連事業	
質問・意見・評価	回答（質問の場合）
<p>「Uターン促進」、「町内住み替えの支援事業」 交付金の対象とならないからしないということで、直球の施策が全くできない。ほかの交付金や、補助、そういうものを使ってすることは全く考えないのか。それとも自助努力で実施する考えはあるのか。今のままでは、国の施策に頼れないとしない、というふうに見えるが、そのようなものであれば総合戦略に載せる必要も無いと感じる。</p>	<p>Uターン促進、町内住み替え支援事業は、一定のルールに基づき国の交付金の対象外となりました。その他にも例えば、宝くじのコミュニティ助成金であったり、地域活性化センターの助成金であったり、地方創生に関するメニューがございますので、そういったところに上手くマッチングをさせて本事業に活用していきたい考えております。</p>
<p>「ほんまもんの英語教育」 小学校・中学校において特定の日には1日、英語でしか話してはいけないといったイベントはどうか。</p>	<p>新学習指導要領になり、小学校で英語が教科になることを踏まえ子どもたちがスムーズに入っていける環境づくりが重要となります。そのために、現在、町内で英語圏出身の保護者の方にご協力をいただいたり、ALTに幼稚園や小学校を回って英語を身近に感じてもらう取り組みをしています。まだまだ工夫が必要だと認識しております。</p>
<p>「絵本図書館」 絵本図書館と既存図書館の棲み分けをしていくというが、具体的にどうするのかわかりづらいので教えてほしい。</p>	<p>まほろばホールにある図書館とは別に、子育て世代が利用される豆山の郷に、子育てに特化した絵本を多く配置したコーナーを新たに設けられないか検討しています。</p>
<p>「同窓会応援します事業」 非常に評価できる。取り組みの輪を広げられたら良いと思う。</p>	
<p>「近鉄の3駅のポスター掲示板」 スペースが広がって良い。今後は一定の規則を作って、地域行事・イベントのポスターとか、そういったものに開放する、というようなことが考えられないか。</p>	<p>一定の規則を設けることで開放出来ないか検討します。</p>

<p>「漫画で河合のまち再現」 町職員が企画立案し漫画も描いているのか。</p>	<p>実際の漫画に仕上げるのはやはりプロの方にお問い合わせすることになると考えております。現状は、小学校3、4年生の社会科の副読本「わたしたちの河合町」に、町職員が調べた昭和初期の川合市場地区の様子を紹介しています。</p>
<p>「イオンシネマの優待券」 28年の実績が3万人だったのが29年12月末で1万7千人になっていて、かなり減っている気がするが、なぜ減っているのか。また、利用者の年齢構成は。</p>	<p>来場者数全体の約15%が河合町民のようです。来場者の増減というのは上映作品や時期によっても影響します。イオンシネマ優待券の利用者については約65%が30～40歳代となっております。</p>
<p>「河合のまち貸します」 29年12月末現在2件とあるが、どのようなことを、どのような方がされているのか教えて欲しい。</p>	<p>馬見丘陵公園北エリアで多世代参加型のウォーターガンバトル大会というイベントと、ほのぼの公園で子育て世代を対象としたバーベキュー大会を開催いたしました。</p>
<p>「街再生総合戦略推進体制（所管体制）」 所管人員を3人配置ということだが、どんなことしているのか、教えて欲しい</p>	<p>人口動態であったり、これに基づいた街再生総合戦略の策定、見直し、そういったことを中心に取り組んでいます。</p>
<p>「空き家対策の関連事業」① 29年12月末現在の空き家数374戸は、単に空き家がこれだけあるということだけを調べただけか。空き家を何とかしようとしている施策だと思うが、実績の数字を見ると、空き家が増えている。国の地方創生交付金がなかったら何もしないで空き家が増えていくことへの対策はしないのか。</p>	<p>空き家の利活用対策について、パナホーム様と連携をいたしまして、「かわい浪漫プロジェクト」を展開しておりますが、その中で住宅診断（インスペクション）というものを無償で行い、住宅ストックの情報をまず集めようとしていました。住宅診断を実施していただいた方には今後の住宅の考え方に対する意向調査をさせていただきまして、その中で利活用したいという方がおられましたら、住宅流通サイトに掲載し流通にかけていこうという展開を考えております。</p>

<p>「空き家対策の関連事業」② ある自治体では、小中一貫校を進めることによって、移住者が増え、空き家の利活用が進んだ例があるが、河合町でも、そのような面からの考えはあるのか。</p>	<p>京都市内や姫路城の周辺など各地で小中一貫教育の取組事例があり評価されているところがあることは承知しています。しかしながら小中一貫教育はあくまでも手段の一つであり、小中一貫教育も含め河合町にとってより良い取組みを進めたいと思っています。引き続き「教育の充実が、魅力ある町に繋がる」という認識に立ち取り組んでまいります。</p>
<p>「事業全般」 国の交付金の基準の見直しがあれば事業を再検討していくという後ろ向きなことでは、国の動きを待って実施するというように見える。総合戦略に載せる意味があるのか。</p>	<p>転入促進あるいは定住促進、空き家の利活用ですが、総合戦略策定当時は地方創生交付金があるから特典をつけて人口増を図るという発想がありました。しかし、その辺の設計替えも現時点では必要で、なかなか一軒一軒の空き家を売り出します、貸出しますでは動かないので、もう少しダイナミックに転入、定住、空き家利活用促進が必要と考えています。</p>
<p>「SNSを使った情報発信」 河合町のホームページや、町公式フェイスブック等での情報発信が充実していないと思う。まだまだPR不足を感じる。</p>	<p>町公式フェイスブックである「すな丸秘密基地」については、各種イベント情報を中心にアップをしています。フォロワーは現時点で387名で、さらに増やしていけるよう取り組んでいきます。ホームページについてはトップ画面で世代別に知りたい情報にアクセスしやすい仕様に変えております。また色々な大字自治会の情報もホームページでアップしてはどうかというようなご意見もいただいております。まだまだ改変していく余地はあると考えています。</p>

<p>「馬見丘陵公園を中心としたまちづくりと活性化」① 別途計画と書いてあるが、どんな風に進んでいるか。</p>	<p>河合町では近鉄3駅があるというところで、それぞれの駅前にコンセプトを持たせてまちづくりを進めていこうと考えております。そのうちの1つ池部駅ですが、県の馬見丘陵公園の緑道の入り口でメインゲートになっています。そういったことから緑道と駅前の活性化ということで、今奈良県とまちづくりについての包括協定を締結に向けて進めています。</p>
<p>「馬見丘陵公園を中心としたまちづくりと活性化」② 奈良県とのまちづくり協定ということはハード整備が中心か。むしろ大事なことは、馬見丘陵公園には町外の方も訪れるので、その方々と河合町の方々との交流の仕組みを整え、ソフト面として馬見丘陵公園を中心としたまちづくりに取り組んでもらいたい。</p>	<p>元々、馬見丘陵公園を中心としたまちづくりというのは今に始まったことではなくて、例えば「緑道を1300年の道」ということで奈良県に出来事について1mを1年と捉えてモニュメントを設置しておりますし、春夏秋冬のイベントも実施するようになりました。その流れの中でもっと馬見丘陵公園、あるいは池部駅の活性化に結びつけるものがないかということで今、検討・協議をしていますがご意見もその中で参考にしていきたいと思っております。</p>
<p>「馬見丘陵公園を中心としたまちづくりと活性化」③ 馬見丘陵公園だけを考えるのではなく、その周辺、さらに地域の方々の活力ももっと使うべき。また、こんなに災害も少なく安心安全な町に加えて、近鉄田原本線の駅は8駅あり、その中で河合町内には3駅もある。こういうことを定住促進の魅力に使うべき。しかも今年は近鉄田原本線の前身の大和鉄道から起算して開通100周年にあたりイベントが行われる。それに合わせて鉄道唱歌を公募したところ河合町は非常に少なかった。河合町も積極的に関わっていくべき。</p>	<p>近鉄田原本線が、今年の4月26日で100周年を迎えるということで7月28、29日、それと鉄道の日10月14日の3日間にわたってイベントを開催します。沿線5町に加えまして、川西町も一緒にPR活動に参加したいということで今動いております。鉄道唱歌については我々のPR不足で非常に残念な結果になってしまいまして、申し訳ないと思っております。イベントにつきましてはこの反省を踏まえまして、積極的に色々なイベントを展開していきたいと考えております。</p>